



89号 2023.12.20

たくさん集まって盛況だったね。



＜特集＞

## 第45回アイメイト・デー開催 (開催報告)



### 連載記事

- 風を切って歩く幸せ (永吉満さん)
- 後援会自己紹介 (石川真奈見さん)

### 後援会から

- アイメイト募金芳名録
- 会員のページ
  - ◆ これまでの行事
  - ・ これからの行事予定
- ◆ 役員会議事抄録
- アイメイトサポートグッズ



### 後援会イベント紹介

江東区民まつり／ライオンズクラブ合同募金活動／立教大学

### 協会だより

- ◆ アイメイト卒業生人数 ◆ 【インタビュー】卒業式前の生徒のお二人のお話と担当歩行指導員からのメッセージ
- ◆ 年末年始の予定

発行人：アイメイト後援会

編集人：福永 達子

発行所：〒177-0051 練馬区関町北5-8-7  
(公財) アイメイト協会内

TEL : 03-3920-6162 FAX : 03-3920-6063

<https://www.eyemate-support.org/>



## 第45回

## アイメイト・デー開催

2023年10月29日(日)13:00～15:50、「全国町村会館」(千代田区永田町)にて、「第45回アイメイト・デー」が開催されました。全国で活躍するアイメイト(盲導犬)ペア22組をはじめ、ボランティア、国・自治体の職員、議員、支援企業・団体など、アイメイトに関わる総勢約222名が参加しました。

アイメイトに関わる様々な立場の方によるスピーチがあり、また、特別ゲスト山田雅人さんによる「かたりの世界」や、カトルカールによるスペシャルライブなども行われ、アイメイトに関わる多くの方々の相互理解を深める楽しい会となりました。



サプライズゲストの山田雅人さん。会場を盛り上げてくださいました。



開場前のスタッフ打ち合わせで  
誘導の基本を再確認



会場の入り口横でグッズ販売



後援会員で受付を担当



2024 年度予定の新入職員紹介



後援会員の須網葉子さん、  
山田光子さんのスピーチ



スピードくじの進行を後援会員で担当



駅から会場までの道順をサポート

# 来賓祝辞

ご来賓の国会議員、都議会議員、東京都、練馬区よりご祝辞を賜りました。



左から、参議院議員 生稲晃子氏、東京都議会議員 柴崎幹男氏、東京都福祉保健局 障害者施策推進部長 鈴木和典氏、練馬区福祉部長 吉岡直子氏

# 協会より

アイメイト協会の常務理事、代表理事のスピーチを紹介します。

## お互いを理解し合う有意義な場として

アイメイト協会常務理事 来田万葉さん

お

かげさまでアイメイト・デーは今回で45回目の開催を迎えることができました。

コロナ禍のために開催を見送ったこともございました。3年ほど続きました爆発的な感染状況も、時間をかけてなんとか落ち着き、コロナ禍以前のような社会がずいぶんと戻りつつあることを、そして昨年に引き続き、今年もまた無事にアイメイト・デーの開催ができますことを大変うれしく思っております。

昨今、社会全体として福祉に力を注ぐ場面が増えてきたように感じています。児童福祉、動物福祉、そして障害者福祉など、社会の仕組みとして受け皿が少しずつ大きくなっていることは歓迎すべきことです。

それでも、当事者の方と直接関わる機会が少ないと、どうしてもお互いに誤解を生じやすいことは確かです。

視覚障害の場合ですと、「目が見えなければ1人では何もできない」と思っている方も少なくはありま



せん。

視覚障害者に安全で自由な歩行を提供することで、皆さんがよりはつらつと活躍されることをサポートをすることが、私どもアイメイト協会の使命です。

今日もアイメイトに関わってくださる多くの方がこの会場にお集まりいただいております。この場をぜひともお互いを理解し合う有意義な場としていただければ幸いです。

---

## 今後も変わらず、使命にまい進

アイメイト協会代表理事 塩屋隆男さん

ア

アイメイト協会の事業は、ここにお集まりの大勢の皆様のご理解、そして、ご支援がなければ成り立たないことですので、本当にありがとうございます。

アイメイト・デーが初めて開催されたのは、1972年の10月10日でした。それからほぼ毎年開催しまして、今年は第45回目となっております。

1964年の東京オリンピック、これは10月10日に開幕したわけですが、それを記念して、体育の日という風に言われておりました。今で言う、スポーツの日というものでしょうか。

数字の算用数字の10を横にしますと、眉毛と目という印象になりますので、目の愛護デーでもありました。そして、この10月10日はアイメイト協会にとって誕生日でもあります。

1957年に、国産盲導犬第1号を送り出しましてから、紆余曲折ありましたが、事業を進めてまいりまして、そして1967年に、法人の認可を受けました。

その後、東京盲導犬協会という名称で、1971年の10月10日に、改めて法人として認可されました。

視覚障害者のための東京盲導犬協会が、目の愛護デーに誕生するのは大変有意義なことだと考えると、創設者は語っております。

この記念となる日に、視覚に障害を持つ方々とアイメイトへの理解を深めていただくことを目的に、アイメイト・デーが始まったわけです。

10月10日は、以前は祝日でしたが、祝日法が変更になりまして、今はアイメイト・デーの開催は10月の日曜日という風になっております。

ちなみに、来年2024年は10月27日を予定しておりますので、随分先の話ですが、ぜひご記憶いただければと思っております。その場で、また、皆さんとこうしてお目にかかれることを願っております。

コロナ禍が約3年間ありましたが、この間も歩行指導は一度も休むことなく、協会の事業として進めておりました。



当会は社会の皆様を支えていただいて仕事を進めているわけですが、このコロナ禍で、アイメイトの活動を支えてくださる団体様の街頭募金なども激減しまして、社会の人的つながりは少しずつ復活しておりますけれども、協会の運営としては厳しい状況が続いております。

皆様のお知り合いや関連の団体に視覚障害者支援や当会の事業に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご支援くださるようお願い申し上げます。

また、本日はアイメイト協会サポート会のお知らせを会場に持ってきています。これは年に一度のご寄付をしていただく、賛助会員の制度でして、資料をご希望の方がいらっしゃいましたら、会場にいる職員にお声がけいただければ、お渡しさせていただきます。

アイメイト協会は、これからも変わらず視覚障害者の歩行問題解決のお手伝いという使命にまい進していく所存でございますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

そして、本日、会場にご参集くださった方々、当会事業を支えてくださってる方々にますますのご健勝とご健康をお祈りして挨拶とさせていただきます。

# アイメイトを語る

「アイメイトを語る」のスピーチを一部を抜粋して紹介します。

## 何にも代えられないアイメイト

アイメイト使用者 小山恵美子さん

今

日は何をお話しようかなって色々考えてきて、実はもう私も生きてきた半分以上の時間をアイメイトと過ごしてます。その変遷を5分間で語りたいと思います。

1頭目のディア。黒ラブ、クールビューティー。留学をしました。30年前でございます。口輪をしないと、飛行機の中で暴れたりされると困ると言われて、ちょっと交渉をしました。

当日はですね、チーフパーサーは挨拶に来る、機長は挨拶に来る。丁重なVIP待遇を受けました。ただ警戒しているだけだったのかもしれませんが。口輪をせずに、渡米することができました。

そして時がたち、2頭目のアストロ。ハンサムプリンスです。彼とは、仕事の関係で日本とアメリカの間を行ったり来たりしました。ざっと計算したら、23万キロ一緒に飛びました。

そして、3頭目のドロシー。今勤めている職場に、一緒に通い始めました。

ここではですね、会社が入っているビルのオーナーさんとひと悶着ありました。ご近所のセレブワンちゃんたちとご近所トラブルになると困ると言われたらしくて、上司が対応にあたってくれたと後から聞きました。『私たちは社会的に役割を果たして対応しているだけだ』という風に突っぱねたそうです。

無事、ドロシーと一緒に会社に勤めて14年。いまのところ、まだご近所トラブルになったことがないです。

そして4頭目のサマンサ。優等生の学級委員タイプ。この時にですね、私、日本にいて初めて、部屋探しをしました。

3年ちょっと前でした。令和の時代ですから、「まあ、そんなに大変な思いしないでもいいのかな」と思ったんですが。話には聞いていましたけれども、やっぱりなかなか一筋縄ではいなくてですね。不動産屋さんがいいと言っても、大家さんがちょっと…とか。



さきほども「目が見えないと、何にもできないんじゃないか」って思われてるってお話がありましたけど、いろんなことがあって、なかなか家を探すのは難しかったんですが、「使い勝手が良かったらぜひ住んでください」という大家さんがいらっしゃって無事に引っ越しすることができました。

そして、今、私の足元にいるのが、5代目のアイメイト。ちょうど1年間が過ぎて、お互いのリズムに慣れてきたところです。

少しネガティブなお話もしましたが、たくさんの方々に助けていただきながら、そして交渉しながら、やっぱり「アイメイトと一緒にいたい」ですね。

多分、今日いらっしゃっている、22人の使用者さんもそうだと思います。安全に安心して歩けることはもちろん、心が自由になるんですよね。いい仕事をして、得意げに振る尻尾が自分の足のところに当たると、本当に愛おしさ。リラックスしている時に寄りかかってくる体の重みの愛おしさ。何にも代えられない。

アイメイトと当たり前に過ごす日常をこれまで支えてくださった、今支えてくださっている方々、そして、今後支えてくださるすべての方々に心から感謝いたします。ご清聴ありがとうございました。

---

## 協会の方々に敬意と感謝を

飼育奉仕者 <sup>ほんぐう</sup> 本宮美智子さん

ー んにちは。今日は飼育奉仕者の立場ではなく、学校（立教女学院小学校）のものとしてお話しさせていただきます。

いま、小山様がお話しなさったように、犬の性格も色々ですね。初めての場所や環境に来て、おどおどしている犬もいれば、無反応の犬、「ここはどういうところ？楽しそう！」という犬もいます。

中には、人の会話に参加しているかのように、会話を頷くような犬もいて、この犬はもしかして「元は人間？」と思うような犬もいてびっくりします。

私がそのようなことを感じるのは、アイメイト候補犬と指導員の方が、私どもの学校に来てくださっているからです。学校という大きな施設、それから集団が活動する場、そういった環境に数時間いることが体験を増やすことになり、トレーニングになると言っています。

例えば、授業中は、教室に犬がダウンしているのですが、静かな授業もありますが、歌声や楽器の音が響いたり、子供たちが動き回る授業もあります。

休み時間は、走り回ったり、奇声が上がったり、時にはにぎやかすぎて、ちょっと犬にとっては過酷なんじゃないかと思うような状況もありますが、どの犬も落ち着いて、徐々に適応していきます。どの犬もとても可愛い、賢い犬ばかりだなと思っています。

1年前は、ここで校長がお話させていただきましたけれども、立教女学院小学校は、2003年より教育の場に犬がいる、犬を介在させるという取り組みを行っています。ご存知の通り、犬は人と心を通わせやすく、感情表現が豊かで、温もりがあって、人と生活できる動物です。

この20年の間には、犬との触れ合いを通して、体が元気な、毎日学校に来るのが楽しいという子供はもちろんのこと、学校にちょっと行きたくないなって行き渋るような子供も楽しみにして学校に来ることができたりといったこともありました。

アイメイト協会の繁殖犬が、なんと、学校で出産するという場に、私も含めて教職員が代わるがわる立ち会うということがありました。

また、1年生から6年生まで、全学年、学年ごとのカ



リキュラムを組んで、アイメイト協会の授業の時間をつくっています。アイメイトのこと、アイメイト使用者の方のこと、歩行指導員の仕事のこと。目隠しをしてアイメイトとの体験歩行、誘導體験。取り巻く歴史や法律のことなど、関係がなければ知ることのできないことが多くありました。

行政にいかに声を届けるかということも大事なことです。歴史や法整備について知ること、子供たちの社会への意識を高めることにつながっていくと考えています。ですので、そういったことも授業内容に入れていただくことにしました。

特に素晴らしい授業となっているのは、やはり、アイメイト使用者の方にお越しいただいて、アイメイトを使用する様子を見せていただき、生活のことなど伺い、接することでした。

接する経験がなければ、どう接したらいいかわからなくて躊躇してしまうものです。その距離が簡単に縮まる機会でした。実際に見て、聞いて、関わって、知ることはいかに大事なことでしょう。

最後にもうひとつ。学校では、去年も今年も6年生の中に歩行指導員になりたいという子供がいます。歩行指導員という仕事が身近になり、憧れる職業になっているということです。

歩行指導員の方々は、穏やかで誠実で素敵な方ばかりです。子供たちは安心して接し、信頼を寄せています。学校に協力してくださっている協会の方々、特に歩行指導員の方々に敬意と感謝を表して終わりたいと思います。いつもありがとうございます。

## 一緒に過ごした犬たちとの思い出

リタイア犬奉仕者 佐久間洋子さん

私

は、もう今、80歳になります。定年までは看護師をしてまして、看護師をしている時にいちばん最初のリタイア犬と知り合いました。

私はまだ、犬と一緒に生活したことがなくて、初めて犬と一緒に生活するようになった最初の女の子です。

5人家族でしたけれども、もう、うち中みんなで、珍しくて珍しくて、可愛くて可愛くて、みんな可愛がって…。あんまり可愛がりすぎたのも良くなかったのかもしれないんですけど…。私の同僚がたまたま、癌で亡くなったんですけど、その時にお通夜に行った時に、そのリタイア犬も亡くなってしまって、私の代わりに一緒に天国に連れて行っちゃったなと思って、泣き泣き塩屋さんに電話しました。そしたら、今度は若い子をとということで、その次はリタイア犬ではなくて、不適格犬でした。

元気な男の子で、甘ったれで、すごいやんちゃでした。私は3人子供がいて、もうみんな大きくなっちゃっていますが、またもう1人子供が来たような感じでした。

その犬は、最初、当時住んでいた豊島区にいたんですけど、引っ越しで杉並まで一緒に連れてきてまして、なんと、もうちょっとすると17歳になるという、そのちょっと前に生涯を閉じてしまいました。その時は、我が子がいなくなったような気持ちがして、気持ちが落ち込みました。

まあ、でも、商売柄、なんて言うんですか、人の最期のところに付き合うことはたくさんありましたけども、人間のおじいさん、おばあさんが亡くなるのと違って、我が子のような犬が亡くなるというのは、とても悲しいことでしたね。

その次に、女の子が来ました。その子はやっぱりとっても可愛くて、いつも朝起きて散歩に行って、帰って来ると、新聞受けから新聞を取ってきてわたし仕事をしていました。それがきっと、今度は自分の仕事だと思ったのかもしれないですね。

その子もちょうど私たちが旅行に行ってる間に、孫娘に世話を頼んだら、孫娘が「朝行ったら、私をばばと間違えて起きてきたけど、次に行った時は返事



しないでもう起きてこなかったんだよ」とのことでした。それであの世に行っちゃいました。

その次に来た子はすごいハンサムで、その子が来た時に、ちょうど隣のアパートの建て替えがあって、朝から晩までうるさかったんですね。で、人間と同じようにストレスで胃を悪くしたようで、いつも行く動物病院で検査をしたのですが、亡くなってしまいました。

最後に来たのは、男の子でした。その子は、いっぱい水を飲んで、いっぱいおしっこをしてとても元気で、その子は私のいいパートナーとして歩きました。公園に行ったりして、でも年とともに後ろ足がやっぱりダメになっちゃうんですね。

私は定年間際には回復期リハビリ病棟というところで働いてましてね。この子もリハビリをした方がいいと思って、それで、タオルを後ろ足に巻いて持ち上げて、ちょっとの間だけでも散歩に行きましたね。でも、その彼も14歳6カ月で亡くなりました。

あまりそうやってリハビリをさしたのがかえって犬にとっては酷だったのかなあと反省していますけど。やっぱり、いつまでも一緒にいたいという気持ちが心の中にあってね。

まあ、でも、その彼も、きっとあの世に行って、前の犬たちと一緒にいると思います。

私にアイメイト協会を紹介してくれた人は視覚障害者のご夫婦で、彼女たちは東視協（東京視覚障害者協会）というところで仕事をしています。彼女たちに頼むと、本をCDに翻訳することができるということでしたので、もしご希望の方がいらっしゃいましたら、私の方に言ってもらえればと思います。

## 「がんばってきてよかった」と思えた瞬間

協会職員 <sup>いいえ</sup>伊家晴美さん

協

会に入り今年で6年目になりました。京都の大学を卒業し、東京に上京してきました。

小さい頃からの夢をただただ追いかけて上京してきました。

最初はひたすら、掃除、掃除、掃除の毎日で、当時は「こんなにやったって…」と、正直思いながら掃除をしていました。

でも、それも今となっては自分の糧になっていると思います。

3年目の途中ぐらいから、毎日の掃除や犬出し（犬のワンツーなど）ばかりの呪縛から解放されはじめ、原さん（歩行指導部長）と一緒に外に訓練に出れるようになりました。

はじめはわけもわからず、原さんの後ろをただついていくのに必死な毎日でした。

ああでもない、こうでもないを延々繰り返しながら、今やっと、自分なりに訓練も進めていけるようになってきました。

ここからは、歩行指導について、ちょっとお話ししたいと思います。まず、初めての歩行指導は、超ベテランの生徒さんでした。

クラス中に、「あなたは今、何を言ってるのかわからない」とか、「それはつまり、こういうこと？」「ああいうこと？」「その言葉じゃ分かりづらいわ」など、逆に指導してもらったような1カ月だったのを、今でも覚えています。

あとは、クラスがうまくいっていない時に、ちょうど協会に来ていた使用者の方に、1階の正面玄関のソファに座って、泣きながら相談したこともありました。そうやってクラスをやるごとに、皆さんには、たくさん成長させていただいています。

この仕事をやっていてよかったなと思える瞬間がありました。それは、歩行指導の最後の卒業式の日、1人の生徒さんが言ってくれた言葉でした。

初日に担当指導員が伊家だって聞いた時は、「うわぁ、新人かー」と思ったんですけど、日々過ごしていく中で、伊家さんが担当でよかった。伊家さんの犬をもらえてよかったと言ってもらえたことです。



この言葉を聞いた時は、涙が出るほど嬉しかったし、何度も何度も「辞めてやろう」「もう無理だ」と諦めかけていたこの仕事ですが、ここまでがんばってきてよかったなと、心から思えた瞬間でした。

最後になりましたが、私たちが、アイメイトの育成、訓練、歩行指導、そして、視覚障害者の方々への自立支援ができているのは、たくさんの奉仕の方々、後援会の皆様、そして、支援してくださっているボランティアの方々の支えがあるからだと思っています。この場をお借りして、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。いつも、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また皆さんに、こうやってお会いできる日を楽しみに、日々、私たち、そして、職員全員でがんばっていききたいと思います。今日はありがとうございました。



## ウィルLC合同募金活動

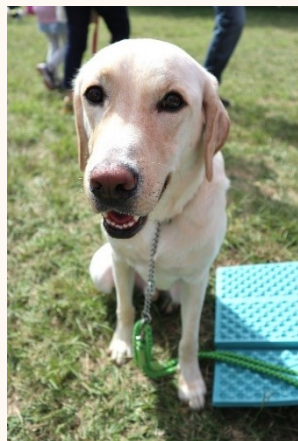
### 中央区数寄屋橋

10月21日（土）、ウィルライオンズクラブ（LC）合同募金活動（中央区数寄屋橋）。大勢の女性メンバーが参加して賑わいました。後援会員のお孫さんが大活躍してくれました。やはり人気は、犬とお子さんと女性陣！



### 江東区民まつり

10月14日（土）、江東区民まつりにブース出展。グッズ販売だけでなく、アイメイト協会のご協力のもと、目隠しでのアイメイト歩行体験なども実施しました。



## 京橋八重洲LC合同募金活動

### 中央区数寄屋橋

11月3日（金祝）、京橋八重洲LC 合同募金活動（中央区数寄屋橋）。春秋恒例でお馴染みのメンバーと秋晴れにも恵まれました。現役アイメイトペア2組、協会から候補犬が3頭、触れ合い犬が4頭で、計9頭が勢ぞろいしました。



## 厚木ライオンズクラブ募金活動

### にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸

11月11・12日（土日）、本厚木駅周辺の広場・公園等で開催された「にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸」で実施した厚木ライオンズクラブ合同募金活動。2日目はうすら寒い気候でしたので、人出は1日目より少し少ないようでしたが、幼児・小学生の親子連れが目立ちました。



## 立教大学ホームカミングデー

### グッズ販売、募金活動

10/15（日）立教大学ホームカミングデー（立教大学キャンパス）。初めてのアイメイトブース出展で、後援会員、飼育奉仕者、アイメイト使用者等総勢19名と触れ合いアイメイト関連犬8頭が参加。協会の体験歩行とグッズ販売、募金活動を行いました。





アイメイト卒業生人数(2023年4月～7月)

| 期      | 卒業日    | 人数 |
|--------|--------|----|
| 第494期生 | 10月14日 | 2名 |
| 第495期生 | 11月18日 | 3名 |

【累計 1, 444名】

アイメイト実働数

**174組**

(2023年 11月18日現在)

全国の盲導犬 実働数

**836組**

日本盲人社会福祉施設協議会発表  
(2023年 3月31日現在)

《卒業予定》12月以降、下記のクラスが予定されています。

|        |        |    |
|--------|--------|----|
| 第496期生 | 12月23日 | 3名 |
|--------|--------|----|



今年も残すところわずかとなりました。10月のアイメイト・デー、そして1年を通して協会事業を支えてくださった全ての後援会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

今回は趣向を変えて、卒業式を翌日に控えた2名の生徒と担当歩行指導員の声をご紹介します。歩行技術から犬の健康管理まで4週間の全カリキュラムを修了した今、どのようなお気持ちなのでしょう。

※歩行指導は生徒の皆さんにとって多忙かつ集中力を要する大事な期間のため、歩行指導中のメディアの取材は原則控えていただいています。今回は歩行指導に影響が出ないよう全課程修了後に職員がお話を伺っています。  
(インタビュアーは担当指導員とは別の職員です／別の歩行指導時の写真を使用しています)



協会職員  
(以下職員)

お時間をいただきありがとうございます。歩行指導を振り返ってみていかがですか

Aさん  
男性  
4頭目

今回は4頭目の歩行指導。緊張や気構えすることなく『大丈夫だろう』とスタートしましたが、体に染みついた歩き方の癖を直すのに苦労しました。

Bさん  
女性  
7頭目

私もです。正しい姿勢で歩けるようにするのが大変でした

インタビュー

職員：何度目の歩行指導でも新たな気づきがありますね。

Bさん：使用者が状況判断をしてアイメイトに指示を出し、アイメイトは目を使って考えて仕事をしますよね。アイメイトの能力を引き出すのは使用者次第であることが実感できた4週間でした。そして、アイメイトの尊さをあらためて感じました。

Aさん：アイメイトが目を使い考えるようにする、本当に大切ですよね。あと、基礎訓練はやっぱり大事。犬が落ち着くので、一緒に歩くのにすごくいい状態になります。



歩行指導中、廊下での基礎訓練の様子



銀座でのテストを終えた帰り道。もう少しで協会です

**職員**： 毎日の基礎訓練の重要性を体感されたのですね。卒業後はどのようにしたいですか。

**Aさん**： 歩くには音を聞いたり状況判断したりが必要ですね。でも、状況判断に気を取られると姿勢が崩れてしまったり、姿勢に意識がっていると犬に指示を伝えるタイミングがずれたり、複数のことを同時にするのは難しい。でも、指導の内容をいつも思い出して継続していきます。

**職員**： 卒業してからがまた挑戦ですね。4週間を共にした歩行指導員に対して一言お願いします。

**Bさん**： アイメイト歩行経験者は、今までの歩き方の癖があって指導をする側も大変だと思う。そんな中、いけないことははっきり『いけない』と言って、染みついた癖を一生懸命直してくれました。4週間の中で、お互い気持ちがぶつかる時もあったけど、真剣に真摯に指導してくれていることが伝わってきてとても感謝しています。これからも一頭でも多くのアイメイトを育てて頑張ってもらいたい。私も応援しています。



卒業が決まると、指導員が新しいハーネスに各ペアの卒業番号を刻みます

**Aさん**：これから多くの使用者を指導する際、いろいろな人がいると思う。何かあっても心折れず、一つ一つ乗り越えてさらに大きく成長してほしいと思います。私も、後ろにいつも担当指導員がいるつもりで基本を守ってがんばります！一生懸命指導してくれたことに感謝です。

**職員**： 貴重なお話をお聞かせくださりどうもありがとうございました。

——では、場所を変えて担当した歩行指導員にも聞いてみましょう。

**職員**： 歩行指導を振り返ってどう感じますか。

**歩行指導員（以下指導員）**： 自分自身の言葉で伝えることを意識して全力投球で歩行指導を進められたと思います。その一方で、まだまだ伝えられることがあるとも感じます。

**職員**： 卒業するお二人に向けてメッセージをお願いします。

**指導員**： 4週間やってきたことをいつも心に留めて、基本を大事にしてください。そして、新しいアイメイトと一緒に、楽しみながら色々なところを歩いていただけたら本当にうれしいです。

以上、卒業式前の生徒のお二人のお話と担当歩行指導員からのメッセージでした。

年内の歩行指導は12月後半に終了しますが、犬たち職員共に健康管理をしながら来年に向けて準備を続けます。寒さが厳しい季節です。皆さまもどうぞご自愛くださいませ。

#### ■年末年始の予定

2023年12月27日(水): 通常通り(9~12時、13~17時)  
2023年12月28日(木)~2024年1月5日(金): 冬期休業  
2024年1月6日(土)より通常通り業務を行います。

皆さまが穏やかな年末年始を過ごされますように。  
来年もまた変わらぬご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

元気いっぱい。アイメイト候補の子犬たち



## アイメイトサポートグッズとは？

アイメイトサポートグッズは、収益をアイメイト協会に寄付するためにアイメイト後援会員が企画開発・制作しているチャリティグッズです。アイメイトやアイメイト候補の子犬をモチーフにした文具、アクセサリ、Tシャツ、バッグなど20品目以上。オンラインショップで全商品をご覧いただけます（こちらに掲載しているのは一部の商品です）。

**ご購入はオンラインショップで！** 電話・FAX・メールでも購入できます

アイメイトサポートグッズは、オンラインショップ・電話・FAX・Eメールによる通販、及び各地の学園祭・お祭りなどのイベント会場での直販にてお求めいただけます。

オンラインショップ <https://shop.eyemate-support.org>

（電話）090-4245-8226 （FAX）03-6336-8870 （Email）goods@eyemate-support.org

担当・内村浩介

### 再入荷

しっぽが揺れるピンブローチ（金）

¥1,200



裏面（ピン止め機構）

人気のピンブローチが再入荷！  
ハーネスがないタイプの「金」です。

◆しっぽが左右に揺れるピンブローチ。

色：金  
全長：2.5cm,

**SALE** ~~¥1,200~~ → **¥1,000**

立体布マスク（アイメイトイラスト） 白・青・赤

- ◆かわいいアイメイトのイラスト入りの立体型マスクです。
- ◆表生地はデザインプリントが映えるポリエステル生地、裏面は肌触りの良いダブルガーゼの綿100%です。日本製のしっかりとした縫製。
- ◆男女共用のフリーサイズ（大人用）。

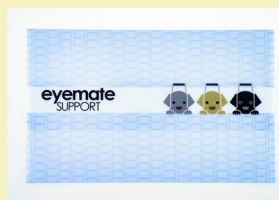
※色は白・青・赤よりお選びください。

サイズ：折りたたみ時 H9.1cm x W13.2cm



**SALE** 抗菌マスクケース 3頭アイメイトイラスト

~~¥800~~ → **¥600**



- ◆クリアファイル状の三つ折りタイプのマスクケースです。
- ◆立体タイプでも、長方形タイプでも、ほとんどの形状のマスクが収納できます。
- ◆表面に抗菌加工が施されています。
- ◆3頭のアイメイトのイラスト入り。

サイズ：22cm x 13.8cm

**送料無料対象商品**

マスクケースのみでも他商品との同梱でも送料無料。



最新情報はアイメイト後援会Facebookページで

<https://www.facebook.com/eyemate.support/>



オンラインショップは「アイメイトグッズ」で検索！ 全商品がご覧いただけます



色：セージグリーン  
サイズ：W29cm x H35cm x D18cm  
/ 容量約14L

※写真はイメージ（合成）画像です。

### クルリとたためるエコバッグ

¥ 1,200

- ◆なめらかな丈夫な生地でクルリとたためるエコバッグです。
- ◆色はセージグリーン（ナチュラルな緑）。アイメイトのイラスト入り（裏面無地）。



※旧製品「アイメイトエコバッグ 黒」の色違い・デザイン違いの同等品です。



### アイメイト手編みストラップ

¥1,000



- ◆手編みのアイメイトのストラップです。キーホルダーや携帯ストラップに。

- ◆他の盲導犬とは違うアイメイト独自のハーネスを再現。

サイズ：約5cm x 5cm

### クリアファイル2枚組 (U)

毛布で遊ぶ子犬・甘え顔の現役アイメイト ¥400



- ◆A4サイズのクリアファイル2枚組です。



- ◆片面は全面写真、裏面はクリア（透明）部分を大きく取り、中の書類が見えるようになっています。



### タオルハンカチ 子犬きょうだい

¥500

- ◆ハンカチなどとして使えるミニタオルです。
- ◆全面にアイメイト候補の子犬の写真入り。
- ◆裏は無地の白。



サイズ：  
22cm x 22cm  
綿100%

アイメイトサポートグッズ・オンラインショップ カード・銀行振込・代引

<https://shop.eyemate-support.org>

TEL : 090-4245-8226 FAX : 03-6336-8870

Email : goods@eyemate-support.org

お買上げ5,000円以上送料無料  
(5,000円未満は全国一律500円)

※一部商品は金額に関わらず送料無料

## 2024 アイメイト・サポートカレンダー

&lt;送料無料&gt; 他商品との同梱でも送料無料です。 ¥1,000

アイメイト協会監修のカレンダーです。今年も好評販売中！

※ 例年12月中に品切れとなります。お早めにお求めください。



子犬のポストカード（4枚組）つき！

見開きA3サイズ13枚の中綴じ仕様

◆誕生から引退後の生活まで、各ステージのアイメイトと支える人々の絆をテーマにしたカレンダーです。

◆長年アイメイトを撮影しているプロカメラマンが現役アイメイト、アイメイト候補の子犬、訓練・歩行指導などの実際の様子を季節感と共に撮り下ろしました。

◆各月の写真のキャプションと巻末の特設ページにより、アイメイトへの理解を深めていただける内容になっています。教材や啓発資料にも最適です。

◆今年の特集ページは「アイメイトの聖地・銀座」。半世紀以上前から銀座で行われている歩行指導宿の「卒業試験」の様子取材しました。

発行：アイメイト後援会

監修：（公財）アイメイト協会

撮影：内村コースケ



## 2024 アイメイト・サポートカレンダー mini（卓上）

&lt;送料無料&gt; 他商品との同梱でも送料無料です。 ¥800

「アイメイト・サポートカレンダー」の卓上版です（写真は別カット）。壁掛けもできます。



- ◆透明PET製の組立式スタンドに2L判（127x178mm）の日付入りの写真が12枚+表紙写真1枚が入っています。
- ◆スタンドを組み立てると卓上に置けるようになります。また、壁掛けフックや画鋲を通せるタブつきですので、壁掛けカレンダーとしても使えます。
- ◆壁掛けタイプの「アイメイト・サポートカレンダー」とは別カットを使用しています。



お求めはネットショップで！（カード・振込・代引）

『アイメイトサポートグッズ オンラインショップ』

<https://shop.eyemate-support.org>